

2012（平成24）年6月26日

学校長 様
情報科主任 様

京都府私立中学高等学校情報科研究会
委員長 成瀬 浩健（公印略）

2012（平成24）年度 京都府私立中学高等学校情報科研究会 第4回 夏期研究会のご案内

青葉若葉のみぎり、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は本研究会の活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。また、先日は総会の成立にご協力いただきありがとうございました。

今年度は「生徒自らが課題を発見し考え学ぶ、自立・協調的な情報科教育」をテーマに研究や教育活動の交流を行いたいと考えています。特に来年度よりの新カリキュラムへの移行に向けて、各校で授業内容の検討が進んでいることと思います。

第4回夏期研究会では、学習環境デザインとメディア教育を専門とされている同志社女子大学の上田信行先生より、先進的なワークショップの様子などお話を伺います。また、同志社大学ローム館でのプロジェクト科目の様子を見学し、これからの高校情報科の指導に役立てたいと考えています。

ご多忙のことと存じますが、皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

1. 実施要項

(1)日時：2012（平成24）年7月13日（金） 15:00～18:00

(2)場所：同志社女子大学 京田辺キャンパス

〒610-0395 京都府京田辺市興戸 Tel：0774-65-8631

JR 学研都市線同志社前駅徒歩約3分

近鉄京都線興戸駅徒歩約10分

※お車でのご来校はご遠慮ください。

14:45に同志社女子大学正門にお集まりください

(3)主催：京都府私立中学高等学校情報科研究会

(4)テーマ：「生徒自らが課題を発見し考え学ぶ、自立・協調的な情報科教育」

(5)プログラム：

① 同志社女子大学上田ゼミの見学 15:00～16:30

② 講演・学習会 16:30～18:00

(6)参加費：無料

2. 参加申し込み

「参加申込書」を7月9日（月）までに事務局へ下記ご送付ください。

3. 同封資料

- ・研究会のご案内
- ・参加申込書



当日緊急連絡先(鈴木携帯)：

090-5096-9143

事務局：同志社中学校・高等学校

〒606-8558 京都市左京区岩倉大鷲町 89

TEL:075-781-7121 FAX:075-781-7124

庶務 鈴木 潤 (jnsuzuki@js.doshisha.ac.jp)

上田信行（うえだのぶゆき）先生のプロフィール

1950年奈良県生まれ。同志社大学卒業後、セントラルミシガン大学大学院、ハーバード大学教育大学院で学ぶ。ハーバード大学教育学博士(Ed. D.)。学習環境デザインとメディア教育についての実践的研究を行っている。NHK「おかあさんといっしょ」の開発チームに加わるなど「ラーニング・アート」をキーワードにさまざまなプロジェクトに携わる。多くのメディア開発者を排出した「ネオミュージアム」の創始者。ネオミュージアムでは1991年以来、現在まで50近くの実験的ワークショップを実施している。

著書や作品に『プレイフルシンキング』（宣伝会議）『スピリチュアリティを生きる（共著）』（せりか書房）、『Playful Pieces』（チャイルド・リサーチ・ネット）『playful notes』（CSKホールディングス）などがある。

http://playfullearningdevices.com/PLD/about_us.html より

見学させていただく研究室 内田洋行-事例紹介ページ抜粋↓

学びを挑発する空間。創造も促進するアトリエ。



ガラス張り、レイアウトを自由に変えられるソフトな空間、コンピュータなどメディアが一式そろえられた同志社女子大学のT556演習室。導入は2005年。現代こども学科・上田信行教授が「空間は学習メディアとして最もパワフルだ」と出されたアイデアを、内田洋行が具現化しました。

演習室に求められたのは、ものづくりなどの「アトリエ活動」と、ワークショップなどの「グループワーク」の両方が行える空間。移動がしやすいテーブルやイスを置き、空間を作り出す要素として映像・音楽・照明などがコントロールしやすい機器をそろえました。

演習室に入った瞬間から、授業の空気感を学生に感じさせる空間。授業の最後には学んだことを話し合う「ラーニング・カフェ」を即興的にしつらえるなど、同一授業内でも空間から変化をつけ、メリハリのある授業が行われています。



T556 演習室全景。手前には一段高くなった、中二階のようなスペースが作られている。これは「客観的に自分たちの活動を見る」という力をつけるために、上田教授が提案されたもの。



上田教授のリクエストに応じて、内田洋行がオリジナルで制作した「キューブ」と呼ばれる白い箱。積み方によって椅子やテーブル、収納箱としてさまざまな使い方ができる。



スペースの前方にあるのは150インチプロジェクションシステム。「大型スクリーンに映すことで、自分たちの活動内容がよくわかる」とゼミ生たちに好評。キューブをイスとして使用。

<http://school.uchida.co.jp/index.cfm/20.1585.53.227.html> より

2012(平成 24)年度 第 4 回 夏期研究会 参加申込書

7月9日(月)までに FAX またはメールでお送りください。

送信日 _____ 月 _____ 日

学校名 (_____)

記入者 (_____)

Tel (_____)

Fax (_____)

E-mail (_____)

	研究会参加者
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

7月9日(月)までに、事務局(鈴木@同志社中高)までお送りください。
Fax:075-781-7124 または jnsuzuki@js.doshisha.ac.jp へお願いいたします。